

## 「先生を仕事にしたい」

「先生を仕事にしたい」そう思ったのは、高校3年生の時でした。頭に浮かんだのはこれまでに世話になった学校の先生方の笑顔でした。私の幼さから指導されたこともたくさんありましたが、なぜか浮かんだのは笑顔でした。先生の笑顔にはとても大きな力があることに気づき、自分も笑顔で、子どもを幸せにする仕事、共に成長できる仕事をしたいと考えるようになりました。

初めて講師として小学校に勤務したとき、小学校の時の担任の先生と同じ職場で働くことができました。私の事を知っている先生と一緒に働けるという安心感と、私の成長した姿を見せたいという高いモチベーションで毎日楽しく働くことができました。教員採用試験で心が折れそうになった時に支えになったのは、毎日一緒にいた子ども達の笑顔でした。担任をしていた生徒と思いをぶつけ合ったことや、吹奏楽しかしてこなかった私が野球部の顧問になったことなど、苦労もたくさんありましたが、生徒と共に泣き、共に笑い、生徒と共に大きく成長することができました。これらの経験は、私にとって本当に大きな宝物です。

私は、これまで出会ったたくさんの方々からたくさんの笑顔をもらいました。その笑顔のおかげで教職を続けることができ、自分自身を成長させることができました。このような人とのつながりによって自分自身を成長させてくれることが、ふくい教職の最大の魅力だと感じています。